



▲播同協研究大会が開催されました

▶朝、吐く息はまだまだ白いですが、日中の陽射しにほのかな温かさを感じます。さみしかった木の枝にも梅の蕾がほころび、冷たさの中に柔らかな風が優しい匂いを運んできます。ついこの間年が明けたと思ったら、もう2月も終わり。うかうかしていると3月もあつという間。春はもうすぐそこですね。

▶2月1日、播磨町人権・平和教育研究協議会(播同協)の第46回研究大会が開催されました。播同協は昭和45年に発足して今年で55年を数えます。あらゆる差別の解消をめざし、自治会などの地域の方々や各種団体、企業が一丸となって人権尊重のまちづくりに取り組んで半世紀以上が経ちます。この日も学校園やPTA、企業、自治会といった様々な立場からの実践発表がありました。どの取組みもいろいろな工夫がされており、人と人の「つながり」、「ふれあい」がいかに大切かを改めて感じました。播磨町では「人権尊重のまちづくり条例」の制定に向けて検討を重ねております。これからも播同協とともに多様性を認め合い互いに支え合うまちづくりをめざします。

▶1月26日のロードレース大会では1,200名以上のランナーが自慢の健脚を披露しました。こちらは数えて47回目。ゲストランナーの大山加奈さんにも大いに盛り上げていただきました。大山さんとのトークで、私のバレーボール愛が伝わっていただ嬉しいのですが...。大会の開催にあたりご尽力いただいた関係者やボランティアの方々、そして多くの協賛をいただきました企業の皆さまに厚くお礼申し上げます。本当にありがとうございます。

▶播磨町図書館を使った調べる学習コンクールの表彰式に出席しました。どの作品もユニークな視点と鋭い観察眼で書かれていて驚きました。その中から入選された皆さま、おめでとうございます。インターネットでいろんな情報が簡単に手に入りますが、本を読んで知識を得ることは大切です。これからたくさん図書館を利用してください。

▶この季節、受験生やそのご家族にとって大切な時期ですね。どうぞ風邪などひかれませぬように。乗り越えた先にはきっと素晴らしい景色が見えるはず。冬来たりなば、春遠からじ頑張り！受験生！

播磨町長 佐伯 謙作



あんぜん・あんしん暮らしのメモ帳

播磨町消費生活センター ☎079-435-1999

ご相談は...お電話ご来訪どちらでもご相談ください。ご来訪の場合、産業環境課窓口にお声がけください。

▶相談日時 ※専門の相談員が相談に応じます。
毎週月・火・木曜日(祝日、年末年始を除く)
9時~12時 13時~16時

若者のみなさまに気を付けてほしい 消費者トラブル

トラブル別、こんなところに気を付けよう!

1. 副業、マルチ、情報商材などの「もうけ話」トラブル
支払ったお金(投資したお金)が戻ってこないトラブルに巻き込まれる恐れがあります。「誰でも」「簡単に」「稼げる」もうけ話はありません。

2. エステ、脱毛、美容医療などの「美容」トラブル
キャンペーンの広告に誘われて、高額な契約をしないようにしましょう。その場での施術に簡単に同意せず、リスクリスクの説明を十分に受けてから考えましょう。

3. SNSで知り合った相手から勧誘される「SNS」トラブル
SNSの広告から次のサイトに誘導されてトラブルになるケースがあります。誇大広告に注意しましょう。

4. 出会い系サイトやマッチングアプリなどの「出会い系」トラブル
事前に利用規約を確認しましょう。知り合った相手が本当に信用できるか、慎重に判断しましょう。

5. 就活商法やオーディション商法などの「仕事関連」トラブル
先輩や知人に勧誘されるケースが多くあります。必要なければきっぱりと断りましょう。「オーディションに合格した」と言われる勧誘トークに気を付けましょう。アンケートと称して個人情報盗み取られる事があります。安易に個人情報提供させないようにしましょう。

●トラブルにあっては、不安に感じたら、播磨町消費生活センターにご相談ください。



楽屋裏

今月の広報p8~9に掲載したアンケート結果に「問 あなたにとっての「居場所」はどこですか」とあります。家は安心できず、皆居心地いい居場所です。年齢が上がると行動範囲や生活環境が変わると居場所も変わっていきます。学校、職場、地域、お店、趣味の場所。あなたにとっての居場所はどこですか?私は好きな人と一緒に居られる場所。場所というより、人かなと思いました。(宮)

播磨小学校

自分たちでつくり出す、自分たちの「楽しい」



▲スター発掘



▲長縄

播磨小学校児童会では、「助け合い、認め合い、みんな仲良く明るく元気。努力を続けるはりまっ子」をスローガンに、わくわくする学校生活を自分たちで増やしていくと様々な活動を行っています。

2学期は、ワーク活動(委員会活動)として全校児童が参加できるイベントを多数企画しました。例えば、給食ワークは「先生にインタビュー

」と題して、先生や用務員さんが子どもの頃の思い出のメニューや苦手だったものや、今好きなメニューを紹介しました。「えー、〇〇先生、それが好きなん!?」「そんなメニューあったんや」など、子どもたちも職員も一緒に楽しんで聞き入りました。

他にも、お笑いやダンスなどの得意なこと、やってみたいことを体育館の舞台上で演じる計画ワークの「はりまっ子スター」。また、クラスや仲間を息を合わせて長縄に挑戦する体育ワークの「長縄大会」。図書室の書籍を使った図書ワークの「図書クイズ」なども行いました。

「自分たちの『楽しい』は、自分たちでつくるー!」
自分たちで自分たちの生活を創造する学校となるように子どもたちを応援していきます。

地縁組織の活動や運営見直しのススメ

年度末に入ると「来年度の役員をどうやって決めるか」といった相談が複数寄せられます。例えば、ある自治会からは、「班長をできる人が減ったことで、役員ができる人が少なくなっている。といった相談がありました。またある自治会では、特設チームとして2024年春から「これからの自治会役員が自治会を考える会」を立ち上げ、自治会運営の見直しに取り掛かっています。具体的には、自由に参加できる会合を複数回開催し、これからの自治会運営について話し合いました。その中で、アンケートを取ることであり、自治会活動に負担があるか?今後に自治会はどうなるとよいか?といった設問でアンケートをしました。アンケートの結果からは、「自治会が必要だと思うが、役員

の負担を減らした方がいい」という方向性が出ました。アンケートは取って終わりではなく、この結果を報告する会を自治会員向けに開催しました。アンケート結果を報告するとともに、ここでも意見交換を進めました。これまで長く続いてきた自治会ですが、人口構成やライフスタイルの変化とともにその運営の見直しが必要になりつつあります。しかし、播磨町内の自治会は約6割が役員任期1年です。1年任期のうちに、こうした見直しを進めることは困難です。紹介した自治会のように特設チームを作って話し合いを進めるなど、見直しのプロセスに工夫が必要です。

ぜひ、お住まいの地域の自治会が、どんな活動をされているか、総会資料などでご確認ください。

【まちづくりアドバイザーとは】 播磨町では、多様化・複雑化する地域の課題やニーズに、より細かく対応するため、2020年度より「まちづくりアドバイザー」を配置しています。自治会活動やコミュニティ活動、自主的なまちづくり活動について専門的な視点から支援します。

まちづくりアドバイザーがお届けする

まちアド通信

協働推進課住民協働係
☎079-435-2364